

令和6年度 年間カリキュラム 中学部

タイピングクラス（月・火・土）

	種目	目的・ねらい	身につけて欲しい力 【健康・生活】【運動・感覚】【認知・行動】 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※予想されること、○注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)
4月	オリエンテーション、パソコンを楽しむ	・他生徒と交流する ・パソコンの導入として器具やネットの使い方を習得する	・適切な検索ワードの選び方を学ぶ ・キーボードやマウス操作を習得する 【人間関係・社会性】【認知・行動】 【言語・コミュニケーション】	※進学・進級によって学校生活の疲れやストレスを感じ、活動への集中が難しい ○体調面や情緒面をみながら活動を進める ○必要に応じて個別の時間を設ける
5月 6月 7月	パソコン検定練習	・検定合格に向けてタイピング速度向上や文書処理能力を習得する ・試験会場の環境に慣れる	・“検定”について理解する ・パソコンへのモチベーションの維持、向上 ・定期考査や受験を見据えた試験会場の音や緊張感などの環境に身体を慣らす 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※“検定とは何か”“検定の必要性”の理解が難しく、受験意欲が低い ○視覚支援を使いながら、検定内容と資格がどう役立つかなどの説明を行う ※検定当日、緊張で実力を発揮できない ○事前に模擬検定を実施する
8月	Excelを知る(基礎)	・Excelへの導入として必要性や役割を理解する ・基本的な関数処理の習得	・手書きやWordと比較しながらExcel表計算の便利さを体感し、学ぶ ・関数処理の基本である、IF関数、SUM関数、AVERAGE関数の3つを習得する 【言語・コミュニケーション】	※Excelに難しいイメージを持っている為、意欲低下の可能性や理解の難しさがある ○身近な題材を用いる ○学習済みの関数は視覚支援で机に掲示する
9月 10月	パソコン検定練習	・検定合格に向けてタイピング速度向上や文書処理能力を習得する	・明確な目標をもって活動に参加する ・定期考査や受験を見据えた試験会場の音や緊張感などの環境に身体を慣らす 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※タイピングスピードのスランプに陥る ○気負い過ぎないように声掛けを行う ※緊張で実力を発揮できない ○自信をもてる、緊張をほぐす声掛けを行う
11月 12月	Wordを活用する	・習得済みのWordの操作方法を応用させる	・画像や図形の挿入、文字の編集などを習得 ・他生徒と協力し、1つの新聞を作成することでコミュニケーション能力や協調性を養う 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※グループワークの為、パソコン操作が得意な生徒が中心となって進めてしまう ○すべての生徒が自分の役割を持ち、偏りが出ないようにする ○得意な生徒は周りをサポートを促す
1月 2月	パソコン検定練習	・検定合格に向けてタイピング速度向上や文書処理能力を習得する	・パソコンへのモチベーションの維持、向上 ・定期考査や受験を見据えた試験会場の音や緊張感などの環境に身体を慣らす 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※定期考査と同時期の開催であるため、合格できるかという不安が大きくなる ○必要に応じて活動に内容をテスト対策と検定対策で選択可能にする
3月	まとめ	・パソコン技術を活用して1年間のまとめを行う	・Word技術(画像、図形など)の向上 ・要約力 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※1年間の活動内容を忘れている ○1年間の取り組みと活動写真を提示し、まとめやすくする

Ability+（水）

【目的】お子様の意見をもとに活動を進めていき、他者と協力してイベントを企画・実行するなかで**主体性**や**協調性**を育む。（社会性構築ピラミッドの頂点の部分を目指す）

卒業時に身につけて欲しい力↓

主体性：自分の将来を自分のこととして捉え、自らの意思で選択・決定していく力

協調性：自身の得意不得意を認識し、他者と助け合いながら1つの目標達成に向かって最後までやり遂げる力

【活動】期間ごとにテーマを提示し、お子様のアイデアや意見をもとに進めていく。

	種目 (テーマ)	目的・ねらい	身につけて欲しい力 【健康・生活】【運動・感覚】 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】【認知・行動】	※予想されること、○注意点 (予想される課題とその改善点)
4月 5月	仲を深めよう	・今後協力していくお友達との仲を深めるため、余暇活動を企画、実行する ・他者の理解を深める ・協力する	・自己、他者理解を深める ・目的意識をもって自主的に取り組む力 ・意見を述べる力、聴く力 【人間関係・社会性】【認知・行動】 【言語・コミュニケーション】	※進学・進級によって学校生活の疲れやストレスを感じ、活動への集中が難しい ○体調面や情緒面をみながら活動を進め、必要に応じて個別の時間を設ける ※初対面の相手との関わり方が難しい ○ゲームに取り組みながら関係性を築いていく
6月 7月 8月 9月 10月	地域との関わり を持つ	・地域行事に参加し、地域との交流を図るとともに、地域課題を見つける ・支出、収入を検討しながら計画を立てる ・目標金額、日程に向けて計画的に話し合い、準備を進めていく	・地域社会とのつながり ・協調性 ・計画性 ・主体的に考える力 ・周りに興味関心を持つ ・情報収集能力 ・意見を聴く力 【人間関係・社会性】【認知・行動】 【言語・コミュニケーション】	※地域に目を向けた活動という初めての挑戦に抵抗と難しさを感じる ○地域と関わることの必要性を認識し、企画前に地域行事に参加することで初挑戦に対する抵抗を軽減する ※長期休暇中で学校の宿題や用事があることで活動への意欲の低下 ○責任感を持って取り組むことができるよう、目的やそれぞれの役割を明確化する
11月 12月 1月	地域貢献をしよう	・地域の課題と向き合うとともに地域の方々との交流を深める ・「誰かのために」を念頭に置いた企画を立案・実行する	・問題意識、課題発見能力 ・課題解決能力 ・計画性 ・継続力 ・他者への思いやり 【人間関係・社会性】【認知・行動】 【言語・コミュニケーション】	※地域貢献についてイメージが難しく参加意欲が低下する ○地域貢献の実施例を調べ学習として取り組んだり職員からの提案を行ったりし、生徒自身がイメージを持ちやすくする
2月	活動のまとめ・報告をしよう	・今年度の活動内容を振り返る ・他者と協力して資料にまとめる ・人前で発表をする	・まとめる力 ・資料作成能力(PowerPoint) ・伝える力 ・プレゼンテーション力 【人間関係・社会性】【認知・行動】 【言語・コミュニケーション】	※人前での発表に意欲が低下する ○新しい取り組みをいくつも成功させてきたことで自己肯定感を高めておき、自信をもって取り組むことができるようサポートする
3月	卒業旅行に出かけよう	・1年間協力して取り組んできた仲間と互いを称え合い、思い出を作る	・意見を述べる力 ・達成感 ・自己肯定感 ・他者への感謝 【人間関係・社会性】【認知・行動】 【言語・コミュニケーション】	※やりたいこと、行きたい場所の意見が多くでることで意見がまとまりにくい ○意見を述べる前に金銭面や時間などの材料を多く拾っておき、他者に伝える準備を行う

職場体験・就労体験（土）

	種目	目的・ねらい	身につけて欲しい力 【健康・生活】【運動・感覚】 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】【認知・行動】	※予想されること、○注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)
4月 5月 6月 7月		<ul style="list-style-type: none"> ・“働く”ことを知る、体験する ・働くことの大切さや喜びを知り、達成感を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・“働く”ことを実際に体験することで理解を深める ・自分にもできたという喜びを自信に繋げる 【認知・行動】 【人間関係・社会性】 【健康・生活】	※はじめて“働く”を経験し、自分の苦手なことを認識したり、“働く”ことへのマイナスなイメージを持つたりする ◎活動意欲が下がらないよう、できたこと、得意なことに焦点を当てた声掛けを行う
8月 9月 10月 11月	第2週目 職場体験① 第3週目 就労体験②	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての基本的なマナーを知る ・コミュニケーションの大切さや相手のことを考える大切さを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・身なりや挨拶などの社会性を身につける ・相手の立場になって物事を考えることが出来るようになる 【人間関係・社会性】 【言語・コミュニケーション】 【認知・行動】【健康・生活】	※人前に立つことの苦しさから活動への意欲が低下する可能性がある ◎段階を踏んで細かく目標設定を行い、ハードルを高くし過ぎないように配慮する
12月 1月 2月 3月	第4週目 就労体験③	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の性格や特性を知り、今後に生かせるようになる ・明確な目標をもって次年度の目標を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・得意なこと、苦手なこと等の自己理解をし、将来について考えることが出来るようになる ・自己評価シートを用いて成長した点を確認すると同時に、次年度の目標を立て、目的意識をもって継続的に取り組む 【人間関係・社会性】 【言語・コミュニケーション】 【認知・行動】	※できなかったこと、難しかったことの記憶が多い生徒が活動や将来に不安を持つ ◎職員側から見た、できているところや長けているところなどの客観的な意見を伝える

③は全員対象

①②はグループ編成を行い、交代制